

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 263045-14000					担当教員	中村 大輔 （ナカムラ ダイスケ）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目 / 協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要

中村ゼミでは「会計を通じて企業を知る」をテーマとしている。特に企業が公表する有価証券報告書等の資料を用いることで、定量的・定性的にその企業の戦略とその成果を明らかにし、さらにはその将来像を見通すことができる。

そこで、本ゼミではゼミ生各々が自分の興味がある企業を選択し、その企業を1年間かけて詳細に分析を行う。そして年度末にはそれを報告書としてまとめることとする。こうしたなかで会計や形成分析という「専門的知識を用いて情報収集・分析をすることができる職業人」を育成する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / コミュニケーション能力 / 情報収集・分析力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

各回の報告担当者か否かに関係なく、各自資料や文献等から疑問点や論点を考えてくること。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「会計学1・2」、「財務会計1・2」「管理会計」、「経営分析」を履修することが望ましい。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 有価証券報告書の基本的な構造・内容が理解し、説明できる。
- (ii) 対象とする企業を分析した報告書を作成できる。

⑥ テキスト（教科書）

テキストは用いない。対象となる有価証券報告書を用いる。

⑦ 参考図書・指定図書

石野雄一(2005)『道具としてのファイナンス』日本実業出版社  
青木茂男編著『要説 経営分析（五訂版）』森山書店

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				60%	40%			100%
(i) 有価証券報告書の基本的な構造・内容が理解し、説明できる。				30%	20%			50%
(ii) 対象とする企業を分析した報告書を作成できる。				30%	20%			50%
(iii)								
フィードバックの方法	作成したレジюмеや報告書等はコメントを付ける							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
自信をもって「企業分析ができる」と言える学生を育てたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	全体説明	特になし	新聞の経済欄等を読むクセを付ける。	60分
2	資料の入手方法	特になし	新聞の経済欄等を読むクセを付ける。	60分
3	資料の入手	特になし	新聞の経済欄等を読むクセを付ける。	60分
4	有価証券報告書を読む① （全体の構造）	有価証券報告書	有価証券報告書の全体を見ておく	60分
5	有価証券報告書を読む② （企業の概況）	有価証券報告書	第一部【企業情報】第1【企業の概況】を読んでおく	60分
6	有価証券報告書を読む③ （事業の状況）	有価証券報告書	第一部【企業情報】第2【事業の状況】を読んでおく	60分
7	有価証券報告書を読む④ （設備の状況）	有価証券報告書	第一部【企業情報】第3【設備の状況】を読んでおく	60分
8	有価証券報告書を読む⑤ （提出会社の状況）	有価証券報告書	第一部【企業情報】第4【提出会社の状況】を読んでおく	60分
9	有価証券報告書を読む⑥ （経理の状況－概観）	有価証券報告書	第一部【企業情報】第5【経理の状況】を見ておく	60分

10	有価証券報告書を読む⑦ (経理の状況－損益計算書)	有価証券報告書	第一部【企業情報】第5【経理の状況】の(連結)損益計算書を見ておく	60分
11	有価証券報告書を読む⑧ (経理の状況－貸借対照表)	有価証券報告書	第一部【企業情報】第5【経理の状況】の(連結)貸借対照表を見ておく	60分
12	有価証券報告書を読む⑨ (経理の状況－株主資本等変動計算書)	有価証券報告書	第一部【企業情報】第5【経理の状況】の(連結)株主資本等変動計算書を見ておく	60分
13	有価証券報告書を読む⑩ (経理の状況－キャッシュ・フロー計算書)	有価証券報告書	第一部【企業情報】第5【経理の状況】の(連結)キャッシュ・フロー計算書を見ておく	60分
14	分析対象企業の発表	有価証券報告書	分析対象企業を理由と共に報告する準備をする。	60分
15	前期まとめ	特になし	夏休みに行う分析の資料集めをする	60分
16	後期全体説明	特になし	収集した資料と分析結果をまとめておく	60分
17	収益性分析	有価証券報告書	対象企業の収益性を分析する	60分
18	安全性分析	有価証券報告書	対象企業の安全性を分析する	60分
19	生産性分析	有価証券報告書	対象企業の生産性を分析する	60分
20	成長性分析	有価証券報告書	対象企業の成長性を分析する	60分
21	時系列分析	有価証券報告書	対象企業の収益性・安全性・生産性・成長性を時系列で見ておく	60分
22	業界平均との比較	有価証券報告書	対象企業と業界平均との差を見ておく	60分
23	報告書の作成・発表①	有価証券報告書 原稿	データを表やグラフにまとめる	60分
24	報告書の作成・発表②	有価証券報告書 原稿	定性的データを収集する	60分
25	報告書の作成・発表③	有価証券報告書 原稿	報告書の分析視角から構成を決める	60分
26	報告書の作成・発表④	有価証券報告書 原稿	報告書の本論を執筆する。	60分

27	報告書の作成・発表⑤	有価証券報告書 原稿	報告書の本論を執筆する。	60分
28	報告書の提出	有価証券報告書 原稿	報告書を完成させる。	60分
29	報告書発表会①	有価証券報告書 原稿	各自の報告書を発表するための原稿作り	60分
30	報告書発表会②	有価証券報告書 原稿	各自の報告書を発表するための原稿作り	60分

⑪ アクティブラーニングについて

協同学修型 AL を採用する。自分が分析する企業の有価証券報告書を読み、レジュメにまとめて報告する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性